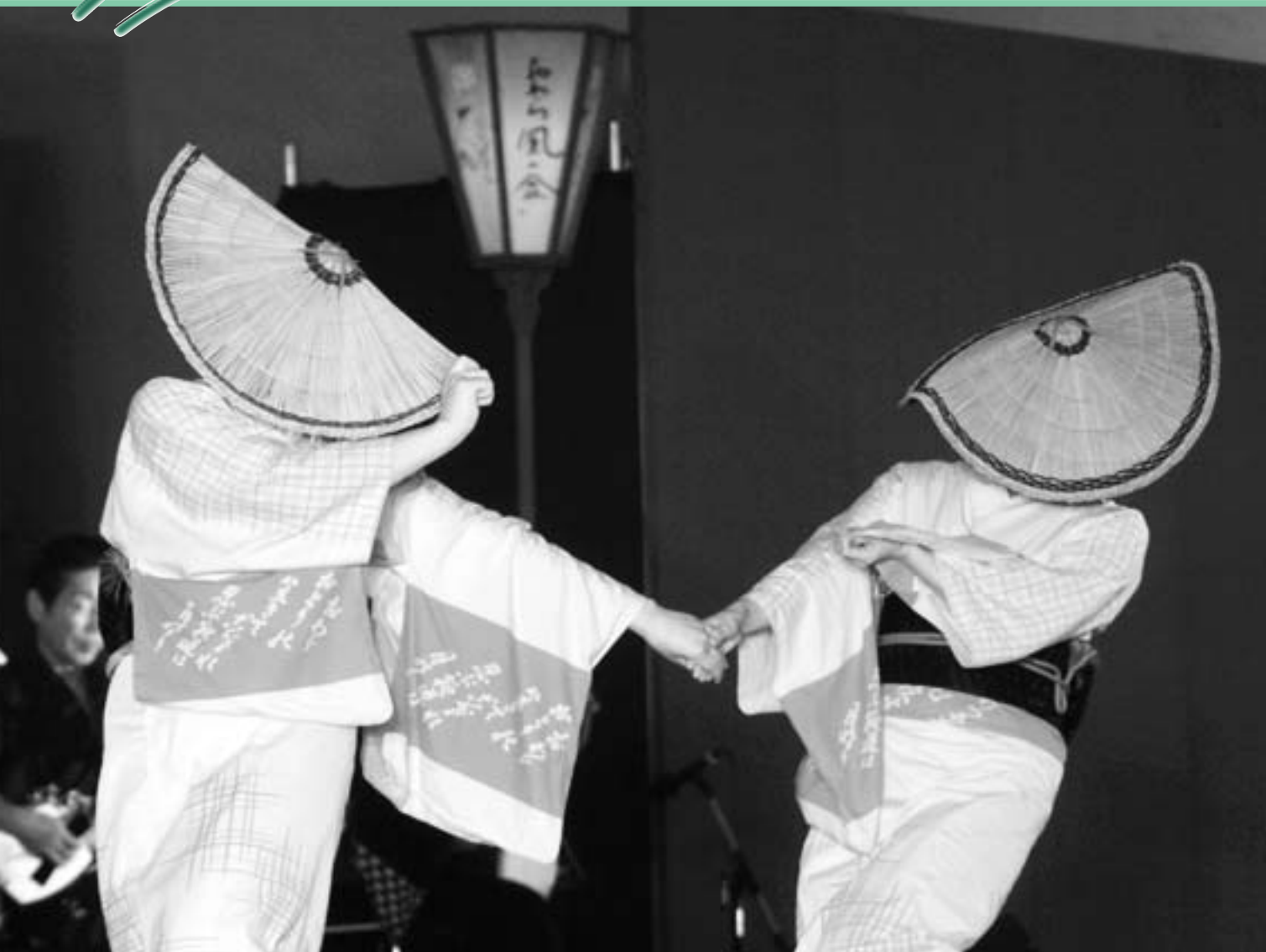


2007(平成19年)

4.1

広報

はむら



CONTENTS

■羽村市第四次長期総合計画 後期基本計画・平成19年度予算	1
■風のおわら	6
■お知らせ	7
■子どものページ	19
■テレビはむら	20
■市の仕事についてお知らせします	21
■健康ガイド	23
■4月の相談日ほか	24

富山県八尾に豊作祈願の祭りとして古くから伝わる「風の盆」。

胡弓や三味線が織りなす独特の調べにあわせて夜の町に浮かぶ幻想的な唄や踊りは、現在も多くの人を魅了し続けています。

そんな、誰もが愛してやまない「風の盆」が再び「風のおわら」としてゆとろぎで舞います。

はむらの実現に向けて

第四次羽村市長期総合計画 後期基本計画・平成19年度予算

新たなまちづくりの スタート

市では、「自立と連携」を基本理念に、将来像を「ひとに心 まちに風 いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら」として、第四次羽村市長期総合計画を策定し、さまざまな施策に取り組んでいます。

長期総合計画は、計画期間を10年とし、これを前期・後期に分け、それぞれ基本計画の策定を行うこととしています。

このたび羽村市長期総合計画審議会をはじめ、市民の皆さんから意見や提案をいただき、長期総合計画の後半部分にあたる後期基本計画を策定しました。

平成19年4月からは、この計画に基づいて新たなまちづくりがスタートします。

【問合せ】後期基本計画について：企画課企画担当 平成19年度予算について：財政課財政担当

■人口推計■

	平成18年1月1日 (実績)	⇒	平成24年1月1日 (推計)
総人口	56,895 人	⇒	56,627 人
年少人口(割合) (0～14歳)	15.1%	⇒	13.9%
生産年齢人口(割合) (15～64歳)	68.8%	⇒	64.8%
高齢者人口(割合) (65歳以上)	16.1%	⇒	21.3%

計画の策定にあたり、次のような人口推計と財政推計を行いました。

■少子高齢化が進み
人口は減少傾向に

人口推計では、少子高齢化が進み、総人口は減少します。

■5か年で996億円

財政推計では、平成19年度から平成23年度までの5か年の財政計画の総額を、普通会計で歳入・歳出ともに996億円と推計しています。

平成19年度予算

■一般会計195億円
前年度比1.9%増

第四次羽村市長期総合計画後期基本計画の初年度にあたる平成19年度は、この計画に定めた事業を着実に進め、計画期間である今後5年間で軌道に乗せていくために、極めて重要な年となります。

平成19年度予算は、後期基本計画に定める事業について、福祉、健康、教育、生涯学習、環境、安全・安心対策など、市民生活に直結した施策や、市が将来に向けて発展していくために重要な都市基盤の整備など、ハード・ソフトの両面にわたる事業費を積極的に予算化しました。

これにより、一般会計の予算規模は195億円で前年度と比べて3億6000万円(1.9%)の増加となりました。

(単位：千円)

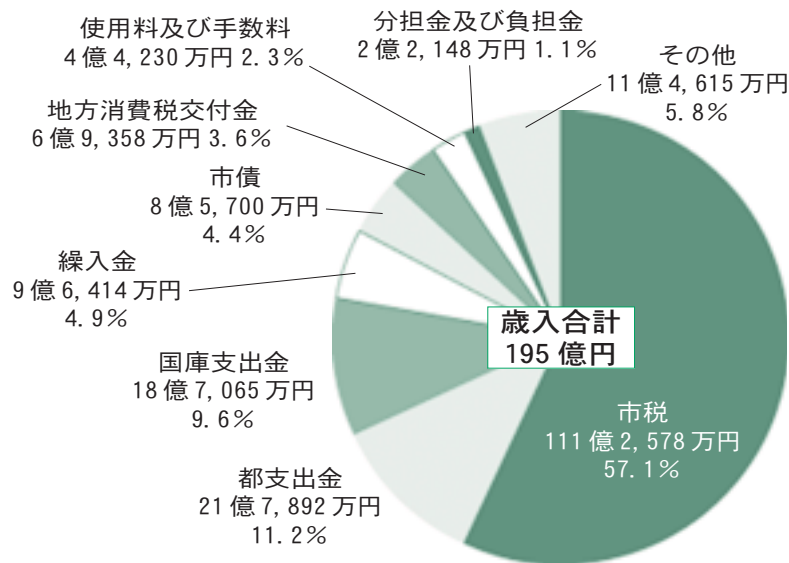
区	分	平成19年度	平成18年度	増減額	増減率
一	一般会計	19,500,000	19,140,000	360,000	1.9%
特別会計	国民健康保険事業	5,263,852	4,532,572	731,280	16.1%
	老人保健医療	2,898,308	2,812,765	85,543	3.0%
	介護保険事業	2,063,185	1,931,244	131,941	6.8%
	羽村駅西口土地区画整理事業	480,584	536,028	▲55,444	▲10.3%
	下水道事業	2,481,456	2,300,334	181,122	7.9%
	特別会計合計	13,187,385	12,112,943	1,074,442	8.9%
水道事業会計		1,461,526	1,548,591	▲87,065	▲5.6%
全会計単純合計		34,148,911	32,801,534	1,347,377	4.1%

※水道事業会計は、企業会計のため「収益的支出」「資本的支出」を合計した予算額としています。

～ひとに心 まちに風～

いきいき生活・しあわせ実感都市

一般会計歳入

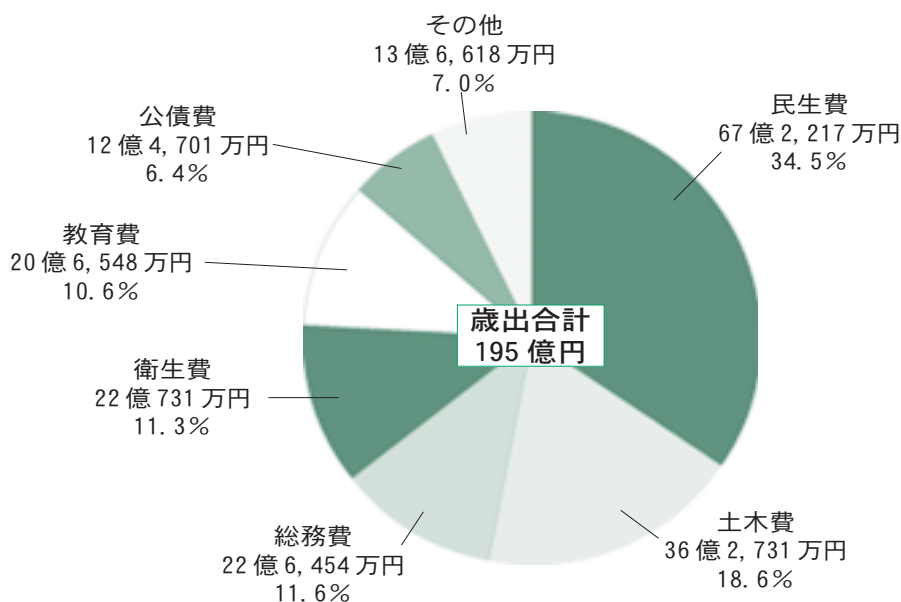


歳入の中心となる市税収入は、地方分権を推進するための「三位一体の改革」により、「所得税から市民税」へ国から税源が移譲されることの影響や、土地評価額の据え置き、新築家屋の増加などにより固定資産税、都市計画税が増加することなどから、前年度と比較して5.9%の増加となっています。

この他に、国庫支出金や都支出金など、それぞれの対象事業費に必要な額を見込み、また、市債や基金の有効活用により財源の確保を図りました。

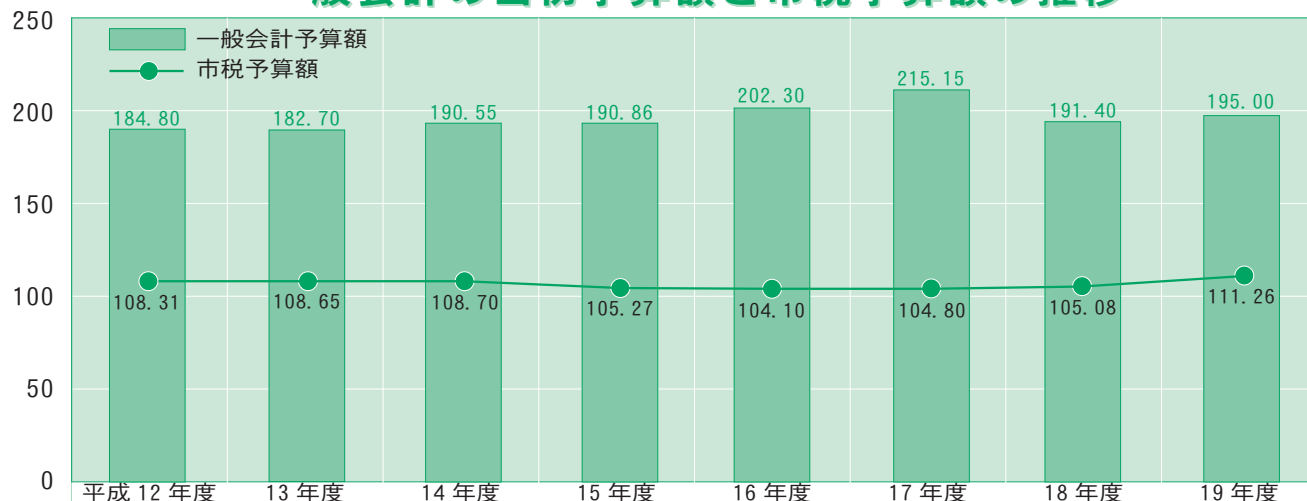
一般会計歳出

都市計画道路3・4・16号線立体交差事業の推進、羽村駅西口駅舎などの整備、高齢者虐待防止協議会の設置、待機児解消のため定員を拡大した私立保育園の運営費助成など、第四次羽村市長期総合計画後期基本計画に定める事業を積極的に予算化し、市民サービスの向上と都市的基盤の整備などを図りました。



(単位：億円)

一般会計の当初予算額と市税予算額の推移



これからの5年間

平成 19 年度の主な事業

- 認可保育園の待機児解消、学童クラブの運営・充実、児童手当の乳幼児加算分の支給など、子育て環境の充実を図ります。
- 高齢者緊急ショートステイの確保、障害者訪問入浴サービスの実施など、高齢者、障害者施策を充実します。
- 木造住宅耐震化促進事業の補助、災害用備蓄倉庫の整備、羽村市生活安全協議会（仮称）の設置など、安全で安心できるまちづくりに取り組みます。
- 特別支援教育教室の増設や第3次生涯学習推進基本計画（後期）の策定など、学びあい豊かな心を育むまちづくりに取り組みます。
- 羽村駅西口土地区画整理事業、都市計画道路3・4・16号線立体交差事業を推進し、安全・便利・快適なまちづくりに取り組みます。

平成19年度から23年度までの5年間、市では、第四次羽村市長期総合計画後期基本計画に基づき次のような施策を展開していきます。
平成19年度予算と併せてご覧ください。

福祉・健康

支えあい

いきいきと暮らせるまち

市民だれもが、人として尊重され、支えあいながら、心ふれあう豊かな福祉社会を形成し、いきいきと健康で暮らせるまちをめざします。

後期基本計画の重点施策

- ◆高齢者の生活自立支援と介護予防の推進
- ◆障害者の地域生活支援
- ◆子育てのための環境づくり
- ◆保育の充実
- ◆生活習慣病予防の推進
- ◆公立福生病院の整備

平成19年度事業

- 地域福祉計画、高齢者保健福祉計画および介護保険事業計画、障害福祉計画の策定 579万円
- 高齢者虐待防止協議会の設置 14万円
- 高齢者緊急ショートステイの確保 54万円
- 介護予防事業の実施（特定高齢者施策）「特別会計」 948万円



教育・生涯学習

学びあい

豊かな心を育むまち

生涯を通じて、学びあい、豊かな人間性と郷土愛に満ちた市民として成長するまちをめざします。

後期基本計画の重点施策

- ◆家庭・地域における教育力の向上
- ◆特色ある教育活動の推進
- ◆特別支援教育の推進
- ◆教育相談体制の充実
- ◆小・中一貫教育構想の検討
- ◆次代を担う青少年の社会参加の促進
- ◆国民体育大会東京大会開催に向けた取り組み
- ◆地域の文化活動の支援
- ◆新しい情報に出合う図書館の充実

平成19年度事業

- 家庭教育セミナーの開催 20万円
- 特色ある学校づくり交付金の交付 1000万円
- 羽村第三中学校防音機能復旧（機器取替）事業 1021万円